

校長室より

「天空高き」



第117号



平成31年2月1日

高校3年生に送る言葉 —3 学期終業式を迎えて—

1月8日に始業式を行い、25日が終業式です。
本当に短い3学期でした。

これから受験に臨む皆さんにお話しします。

いつも平常心で受験に臨んでください。平常心で臨むには、普段の毎日の生活のリズムを維持することが大切です。たとえ、環境が変わっても、いかに普段の自分であるかが、勝負のポイントになります。

イチロー選手の言葉を引用すると、「特別なことをするためには、普段の当たり前のことを当たり前にする」ということです。

すでに進路が確定している生徒の皆さん、4月までに約2ヶ月間以上あります。

大学・短大や専門学校へ進学する人にとって大事な準備期間です。これからも、高校時代の基礎学力が土台になります。まだ、基礎学力が十分身につけていないと思っている人は、もう一度教科書で復習してください。大事なことは、「常に学ぼうとする姿勢です」。

就職する皆さんは、社会人として当然のことですが、「元気な挨拶」「明るい返事」「話を聞くときは相手の目を見て聞く」そして「何事にも心を込めて尽くす」という、当たり前のことをもう一步高いレベルで当たり前続けてください。

4月から、進学する人も、就職する人も、社会人として第一歩を踏み出します。人生は、後戻りも途中下車もできない片道切符です。

これから、いつ、どこで、どんな困難な場面に直面するかもしれません。時には逃げ出したくなるようなこともあるかもしれません。そのような場面でも、正々堂々と、自分の頭で考えて実行できる大人になってください。たとえ、結果として、大きな失敗をすることだってあるかもしれません。その時は、誠心誠意対応し、素直に反省す



ることです。

人が本当に評価されるのは、困難な場面や失敗したとときに、その人がどのような態度を示すかです。人の価値はそのときにどんな態度を取るかで決まります。そして、大事なことは、失敗から何を学びとるかです。そして、あきらめないで何回もチャレンジし続けてください。

これからの人生は、自分が主役となって、自分の人生をつくっていきます。自由の裏には、責任があります。責任は自分自身が取るしかありません。いつでも、どこでも、どんな時にでも、自分で考え、判断し、決定し、行動してください。

ところで、皆さんは高校を卒業すると全員が選挙権を持ちます。皆さんには政治が毎日の暮らしにどのような影響を与えているのか、なかなか想像できないと思います。皆さんにとって一番わかりやすい例が、消費税だと思います。平成26年、今から5年前に、消費税が5%から8%に上がりました。3%上がるだけで、皆さんの生活に大きな影響があったと思います。今年の10月には消費税が10%になります。このように、政治は皆さんの生活と密接に直結しています。身近なこととして、自分の事として考えて、行動してもらいたいと思います。皆さんの1票が岩国市を山口県を日本を変えることができるということを、しっかり自覚してもらいたいと思います。

最後になりますが、私はみなさんの一ファンとして、応援しています。体が資本ですので、第一に、健康維持増進に努めてください。そして、3月1日の卒業式には皆さんや在校生、教職員とともに、盛大にお祝いしたいと思います。

校内の松のいろいろ

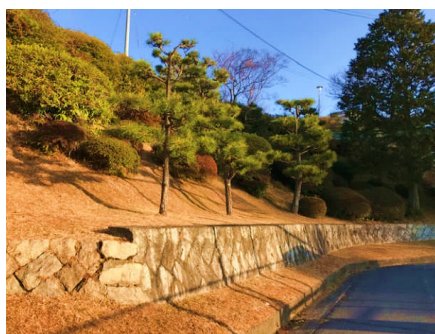
高水学園の敷地にはたくさんの松があります。これらの松はある卒業生の方から苗でいただいたものです。今では写真にあるように立派に成長し、私たちの目を楽しませてくれています。

古くから、私たち日本人の生活の中で共に生きてきた樹種で日本人に親しみのある樹木です。それを物語るように、松の付く地名や名前が多くあ



ります。また、身近な庭園や公園、ガーデニング、門松、盆栽などでもお馴染みの樹木です。

ところで、樹木には単に「マツ（松）」という樹種はありません。中国地方でよく見かける松は「クロマツ（黒松）」や「アカマツ（赤松）」の樹種です。本校の校庭に植えられているのもほとんど黒松と赤松です。これからも大事に育てていきたいと思っています。



整理整頓は、他者と共同して仕事をするための基本である。

2月の月間目標

整理整頓

平成30年度
チャレンジ目標

1. 先に元気なあいさつ
2. 5分前行動
3. 1%を誰かのために

「人生の半分は整理整頓」というドイツのことわざがあります。整理整頓が苦手な私にとって、この諺の意味深さが分かります。

いつも整理整頓を心掛けている人は、無駄な時間を費やすことがないので、たくさんの時間を自分の人生を豊かにするために使うことができます。

皆さんが、これからの長い人生を有意義なものにするためにも、もう一度整理整頓の意義を考えてもらいたいと思います。

まず、整理とは、必要なものと不要なものを区別して、不要なものを捨てることです。

整頓とは、必要なものをいつでも誰でも取り出せるように、秩序立てて配置することで

す。

整理整頓がきちんとしていれば、必要なものを必要な時に、すぐに手に取ることができます。探しモノをする時間がなくなり、時間的余裕も生まれます。モノを探す時間ほど、無駄な時間はありませんから。

また、整理整頓がしっかりできていれば、勉強や仕事の途中で探し物をするという無駄がなくなります。集中力が途切れにくくなります。また、モノが散乱していないので、精神的にも落ち着いた状態で、勉強や仕事に集中できます。そして、いつも整理整頓されていれば、時間的余裕が生まれます。時間の余裕は心身の余裕を生み、余裕ある行動は疲労をためにくくします。結果として、自分の人生を豊かにするためのたくさんの時間を有効活用できるということです。

24節気

立春（りっしゅん） 2月4日頃、および雨水までの期間。旧暦の正月の節。大寒から数えて15日目頃。

旧暦ではこの日が1年の始めとされていたため、決まり事や季節の節目はこの日が起点になっています。八十八夜、二百十日、二百二十日も立春から数えます。

冬至と春分の真ん中で、まだまだ寒いですが、暦の上では旧冬と新春の境い目にあたり、この日から春になります。梅の花が咲き始め、徐々に暖かくなり、春の始まりとなります。立春の早朝、禅寺では、入口に「立春大吉」と書いた紙札を貼る習慣があります。厄除けとして、家の鬼門にこの紙札を貼るご家庭もあります。「寒中見舞い」は立春の前日まで。

雨水（うすい） 2月19日頃、および啓蟄（けいちつ）までの期間。立春から数えて15日目ごろ。

空から降るものが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になる、という意味。草木が芽生える頃で、昔から、農耕の準備を始める目安とされてきました。春一番が吹くのもこの頃です。しかし、本格的な春の訪れにはまだ遠く、大雪が降ったりもします。三寒四温を繰り返しながら、春に向かっていきます。

出典「日本の行事・暦」

カルタ大会—好きな歌を声に出して—

新春恒例の、付属中カルタ大会が開催されました。

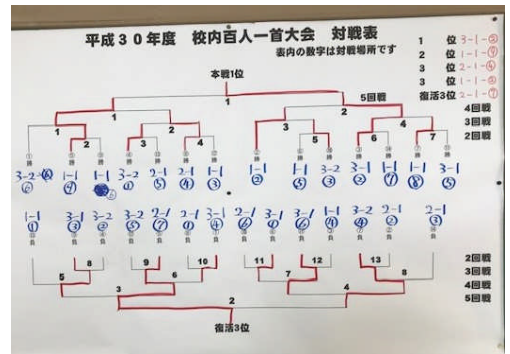
結果は右の表にあります、優勝、中3-1 2位、中1-1そして3位が中2-1となりました。今回は中1がよく健闘しました。

言葉の意味や文法を習う前に、百人一首を丸暗記することの意義はいろいろあると思います。

私は、今も好きな歌は諳（そら）んじることができ、古（いにしえ）の名歌には、リズム感があります。このリズム感は何とも言えない心地良さがあります。また、古語に見られる言葉の感覚は、現代日本語に通じるものがあると思います。国語を正しく理解し、使う上での基礎基本になると思います。

「百ます計算」、読み書き計算の徹底反復で有名な陰山（かげやま）英男先生は、古文や漢文の名文音読が子どもたちの脳の働きを劇的に変えてしまう、とある雑誌に述べられていました。意味が分からなくても音読を繰り返していくと、脳の中で何かしらの変化と成長が生み出されるそうです。古典の言葉には力があり、それを読むことで心が育まれ、人間性が高まっていくのでは、とも語られていました。

新春を読んだ私の好きな一首です。諳（そら）んじてみてください。



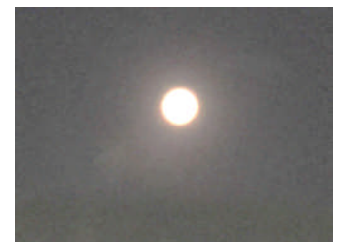
君がため 春の野に出でて 若菜摘む 我が衣手に 雪は降りつ

光孝天皇（15番） 『古今集』

（鑑賞）あなたのために、まだ寒さの残る春の野原に出かけて、食べると長生きできるという春の野草を摘みました。春だというのにちらちらと雪が降ってきて、私の着物の袖にも雪が降りかかっています。とても細やかな心遣いを描いた歌です。野原や若菜の緑と、雪の白の対比も見事で、とても清らかな感じが全体から漂ってきますね。

スーパームーン—みなさん気がつきましたか—

1月21の夜に、「今夜はやけに明るいな」と思い、夜空を見上げると、満月でした。特に、今夜の満月は、地球と月の距離が近くなっているため、大きく明るく見える現象、「スーパームーン」でした。スーパームーンの厳密な定義はないそうですが、ロマンティックな月の現象がたくさんあるのは素敵なことですね。



岩国市玖珂町